

平成27年7月31日発行

米に関するメールマガジン（第17号）

平成25年秋に決定した米政策の見直しにおいては、生産者や集荷業者・団体の主体的な経営判断や販売戦略に基づき、需要に応じた米生産ができるよう環境整備を進めることとしており、平成26年3月から米の流通に係るよりきめ細かい需給・価格情報、販売進捗・在庫情報等の提供を行うこととしています。

平成26年産米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等の状況について（平成27年6月）、米の出荷・販売業者、団体等から報告のあった内容を取りまとめ、本日公表しましたのでお知らせします。

★ 平成26年産米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等について（平成27年6月） ★

（1）相対取引価格

平成27年6月の相対取引価格は、全銘柄平均価格で、12,068円/玄米60kg（対前月比+1.5%）となっています。

（2）契約・販売状況

平成27年6月末現在の全国の集荷数量は343万トン、契約数量は313万トン、販売数量は220万トン、集荷数量に対する比率は、契約数量が91%、販売数量が64%となっています。

（3）民間在庫の推移

平成27年6月末現在の全国段階の民間在庫は、出荷・販売段階の計で172万トン（前年同月差▲18万トン）となっています。

（4）事前契約数量

全国の前契約数量は99万トン、集荷数量に対する比率は29%となっています。

（詳しくはこちら）

○「平成26年産米の相対取引価格・数量（平成27年6月）（速報）」

→ http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/pdf/2706_kakaku.pdf

○「平成26年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米、平成27年5月末現在）（速報）」

→ http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/pdf/2706_hanbai.pdf

○「民間在庫の推移（速報）」

→ http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/pdf/2706_zaiko.pdf

○「産地別事前契約数量（累計、うるち米、平成27年6月末現在）（速報）」

→ http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/pdf/2706_jizen.pdf

本資料及び過去の調査結果（相対取引価格）は、当省ホームページから御覧になれます。

→ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

上記情報も含め、米に関する価格動向や需給動向に関するデータを集約・整理した「米に関するマンスリーレポート」を毎月上旬に公表しています。

（詳しくはこちら）

→ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

★ 食料・農業・農村政策審議会食糧部会の開催について ★

本日（7月31日）16時から、食料・農業・農村政策審議会食糧部会が開催されます。今回の食糧部会では、米についての昨年7月から本年6月までの1年間の需要実績や、本年7月から来年6月までの需給見通しなどを内容とする「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」の策定について議論される予定です。食糧部会の資料については、会議開催時に、以下のURL ページに掲載予定です。

（詳しくはこちら）

→ <http://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/syokuryo/index.html>

★ 平成27年産水稻の西南暖地における早期栽培等の作柄概況について ★

平成27年産水稻の西南暖地における早期栽培等の作柄概況（7月15日現在）について公表しました。

西南暖地における早期栽培等の作柄は、高知県が「平年並み」、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県が「不良」の見込みです。

（詳しくはこちら）

→ http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y1

★ 「平成27年度 病害虫発生予報第5号（水稻特集）」の発表について ★

農林水産省は、7月28日（火曜日）に「平成27年度 病害虫発生予報第5号（水稻特集）」を発表しました。

向こう1か月の水稻の主要な病害虫の発生予察情報については、次のとおりです。

- ・ 梅雨前線や台風の影響により降雨が続いた地域は、水稻が軟弱徒長するなど病害の影響を受けやすくなっているおそれがあります。ほ場の観察をきめ細かく行い、適時適切な防除を実施してください。
- ・ 全国の病害虫の発生動向としては、イネいもち病、斑点米カメムシ類、イネ紋枯病の発生が多いと予想されています。
- ・ 8月以降は、梅雨時期に飛来したウンカ類が増殖することから、発生動向に注意が必要です。各都道府県の発生予察情報に基づき、適時適切な防除を実施してください。

○ イネいもち病の注意報を発表した県

岩手県（7月30日）、埼玉県（7月9日）、広島県（7月29日）、山口県（7月27日）、高知県（7月1日）、福岡県（7月24日）、佐賀県（7月23日）、熊本県（7月30日）、大分県（6月23日、7月8日）、宮崎県（6月18日）

○ 斑点米カメムシ類の注意報を発表した県

岩手県（7月30日）、宮城県（7月3日、7月29日）、山形県（7月9日、7月23日）、福島県（6月30日）、新潟県（7月1日）、富山県（6月24日）、石川県（7月8日）、福井県（6月30日）、岐阜県（7月22日）、京都府（6月23日）、島根県（7月17日）

（詳しくはこちら）

→ <http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/150728.html>

★ 加工用米生産量及び平成26年産新規需要米の生産量について ★

農林水産省は、7月29日（水曜日）に「加工用米生産量（平成16年産～平成26年産）」及び「平成26年産新規需要米の生産量」を農林水産省ホームページに掲載しました。

（加工用米生産量（平成16年産～平成26年産）はこちら）

→ http://www.maff.go.jp/j/seisan/jyukyu/komeseisaku/pdf/kakoumai_seisan_16-26.pdf

（平成26年産新規需要米の生産量はこちら）

→ http://www.maff.go.jp/j/seisan/jyukyu/komeseisaku/pdf/26sinnki_seisan.pdf

★ 農林水産省考案レシピ「250%ご飯!?豚と卵で驚きのおにぎらず」 ★

今話題のおにぎらず（握らないおにぎり）の人気をさらに盛り上げ、低迷する米の消費を少しでも増加させたいとの考えで、農林水産省はクックパッドの公式キッチンへおにぎらずのレシピを掲載しました。ごはんに合う甘辛い豚肉と卵焼きが具材で、豚肉を焼く際は小麦粉の代わりに米粉をまぶします。また、飼料用米の生産・利用拡大の観点から、お米を食べて育った豚肉や鶏の卵を選ぶことも推奨し、その場合は米消費量（換算）が250%までアップする仕組みとなっているという、日本の農業を救うかもしれない究極のレシピとなっています。ぜひ作ってみてください。

（詳しくはこちら）

→ <http://cookpad.com/recipe/3226563>

【米に関するメールマガジン】

発行：農林水産省生産局農産部農産企画課